

資料3 本県の総合学科の在り方(活性化方策)

1 本県の総合学科設置の経緯について

(1) 佐賀県県立学校整備計画審議会 中間答申

(「新しい時代に対応する県立学校の整備・振興計画について」(H5.7.1))

平成4年6月、高等学校への進学率の上昇や社会の変化に伴い、高等学校へ入学してくる生徒の能力・適性、興味・関心等が著しく多様化するなか、教育の質的充実を図るため、県教育長は佐賀県県立学校整備計画審議会に「新しい時代に対応する県立学校の整備・振興計画について」諮問し、「高等学校における『総合学科』の設置について」を検討事項の一つにあげていた。中間答申では、総合学科の設置について、「当面、1～2校をパイオニア的な高等学校として設置し、将来的には各学区に1校程度の設置を検討する。」としていた。

これを受けて、パイオニア校として平成8年度に東部地区の神埼清明高校に総合学科を設置し、その後、神埼清明高校の成果を踏まえ、平成12年度に西部地区の嬉野高校に、平成14年度には中部地区の多久高校に総合学科を設置した。

(2) 佐賀県県立高等学校再編整備審議会 答申

(「生徒減少期における佐賀県立高等学校の再編整備について」H14.2.5)

《答申における総合学科の配置に当たっての考え》

- 既設の高等学校の発展的統合により、地域の実情や生徒の志望動向に応じて、特色ある教育内容を提供する必要がある。
- より多くの生徒が総合学科で学べるよう、通学できる範囲に1校程度設置する方向で検討する必要がある。

2 本県の総合学科設置校と募集定員

(1) 学校数

本県の総合学科設置校は4校であり、旧学科と改編年度は以下のとおりである。

【本県の総合学科高校の設置(旧学科と改編年度)】

- 神埼清明高等学校〔平成8年度〕← 神埼農業高等学校(農業科)
平成11年3月第1期生卒業
- 嬉野高等学校〔平成12年度〕← 嬉野商業高等学校(商業科)
平成15年3月第1期生卒業
- 多久高等学校〔平成14年度〕← 多久工業高等学校(工業科)
平成17年3月第1期生卒業

- 唐津青翔高等学校〔平成 23 年度〕← 唐津青翔高等学校（普通科）
平成 26 年 3 月第 1 期生卒業予定

(2) 平成 24 年度募集定員

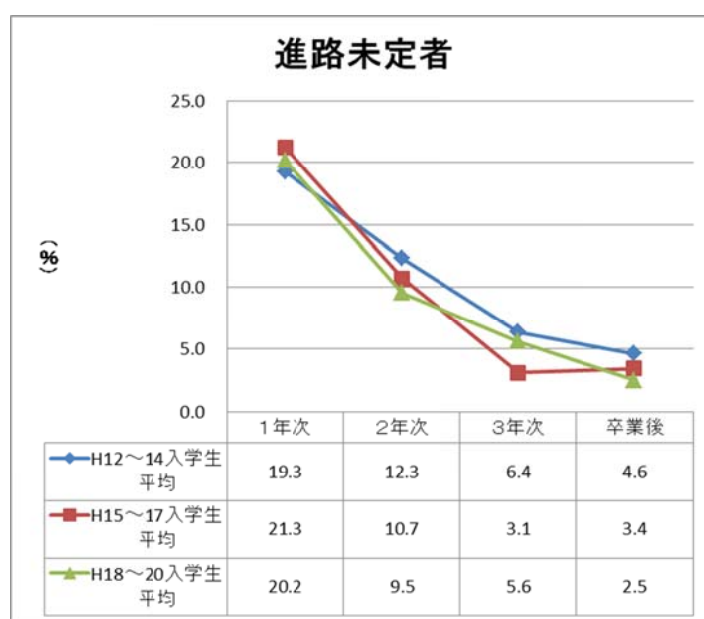
募集定員 120 人（3 学級相当）の高校 2 校、160 人（4 学級相当）の高校が 2 校である。

3 総合学科の状況と課題及び活性化方策案

（高校教育改革プロジェクト会議報告「県立高等学校の活性化に係る検討状況について」より一部抜粋）

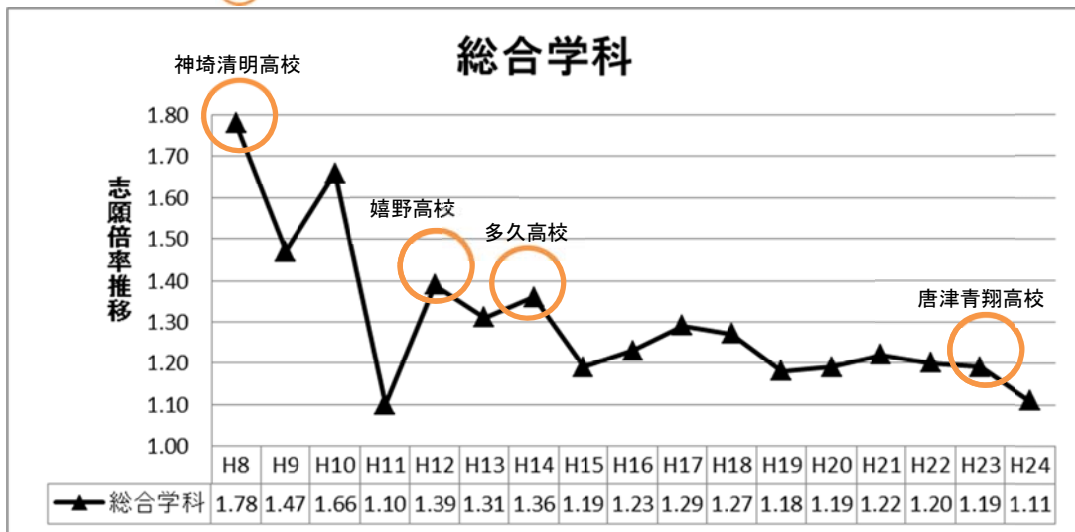
(1) 総合学科の状況

- 一般的に総合学科高校では、専門学科に比べて、就職や進学など将来の進路について明確な意思を持たずに入学してくる生徒が多い。そのため、1 年次には、科目「産業社会と人間」において、自己理解、職業理解等を柱とした内容を取扱い、将来どのように社会に関わっていくかを考えてライフプランを立てる指導を行っている。

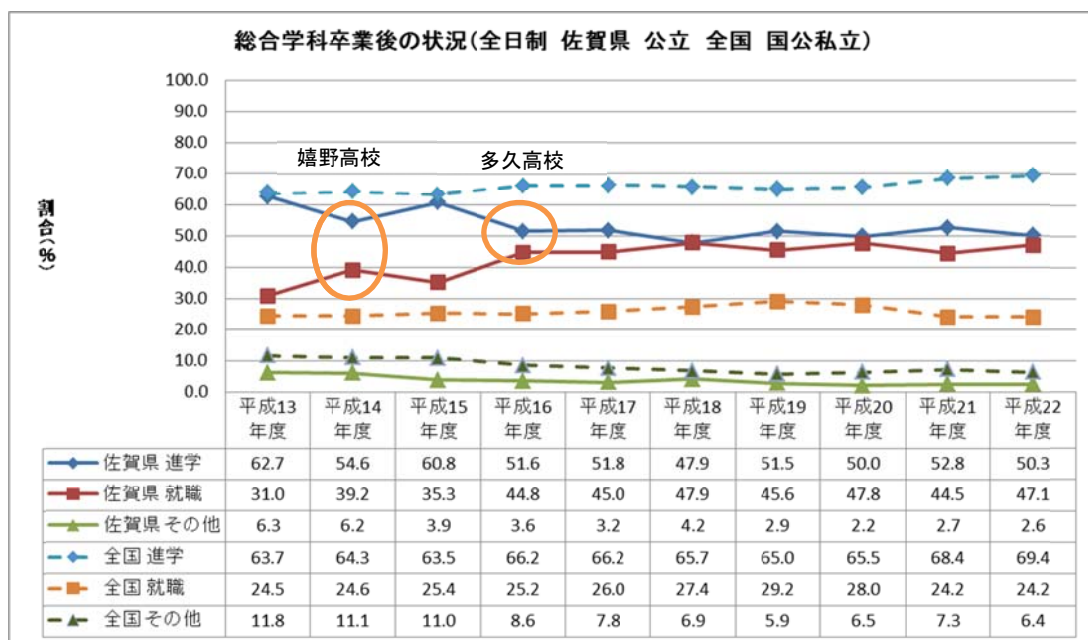


- その結果、総合学科では 1 年生から 2 年生にかけて進路未定の生徒の割合が 10 ポイント程度減少し、「産業社会と人間」を中心としたキャリア教育により、進路への意識が高まり、2 年次からの専門的な学習への橋渡しが効果的に行われていることが分かる。
- しかし、2 年生初めの段階では、進路希望を「未定」とした生徒がまだ 1 割程度いることから、今後さらに研究・工夫の余地が残されている。
- 総合学科へ改編する前に比べると、卒業後の状況は進学者の割合が増えており、生徒の進路志望が多様化していることと、各学校も生徒の進路志望に対応した指導を行っていることがうかがえる。

- ・ 志願状況（○ は、それぞれの高校が総合学科へ改編した年度である。）



- ・ 卒業後の状況（○ は、それぞれの高校で初めて総合学科卒業生が出た年度である。）



(2) 主な課題

- 生徒減少に伴い、総合学科の規模が小さくなると、多様な選択科目の開設や現在の系列を維持することが難しくなり、総合学科の特色を生かせなくなる。
- 同じ学科の学校が連携してつくる研究組織（例えば、農業部会や工業部会など）がなく、個々の学校がそれぞれ独自に研究を重ねた成果が共有されていない。

(3) 活性化方策案

各総合学科高校において、特色を生かせるよう、系列や選択科目の見直しを行い、一層の教育効果の充実を図る。

また、総合学科高校どうしで情報を共有し、教育効果を高める。

(4) 全国的に見た総合学科の課題

(「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より

中央教育審議会 平成 23 年 1 月 31 日答申)

- 総合学科の本来の目的である、生徒に目的意識や将来への進路への自覚を持たせるための学習を進めることが難しい状況にある。
- 中学生やその保護者、教職員といった中学校関係者等への理解が不十分である。
- 普通教科・専門教科ともに幅広く開設し、多様な分野の学習機会を保障するための条件整備が不可欠であるため、キャリア教育を担当する力量のある教員や多様な専門性を持った教員の配置、学校外の人材や学習機会の積極的な活用、多様な専門教科を開設するために十分な学校規模の確保、施設・設備等の充実等について、高等学校の再編を進める中で十分考慮していくことが必要である。

【他都道府県における活性化方策の例】

- 生徒の多様な進路希望に対応できるよう、社会や時代のニーズ等を踏まえた系列(例 国際文化系列 生活福祉系列 情報科学系列 デザイン系列 生産食品系列)を設置する。(千葉県)
- 魅力ある教育課程を編成するなど、総合学科の特長を生かした魅力づくりの推進を図るとともに、その魅力を、生徒、保護者のみならず、中学校や地域等に積極的に発信し、総合学科への理解を促進する。(宮崎県)
- 個々の個性を持つ生徒一人一人が、将来の在り方生き方や進路に関する方向性を定め、主体的・系統的に学習を進めていくために、普通教科から職業に関する専門教科までの幅広い学習ができる総合学科の増設を検討する。

<基本的な進め方>

- ① きめ細かなガイダンスにより自立性を高めながら、普通教育と専門教育を幅広く行い、就職から進学までの多様な進路選択を可能にする。
- ② 各学校が創意工夫を生かした柔軟な教育課程を編成しながら、実践的・体験的な学習を重視する。
- ③ 職業系専門教育については、地域や学校の特色を生かすとともに、専門学科と同等の学習が可能な系列の開設を検討する。
- ④ 通学可能な範囲に少なくとも 1 校の設置を検討する。(石川県)

総合学科基礎データ

(1) 設置区分

		国立	公立	私立	計
H21年度	全国	3	305	36	344
	佐賀県	0	3	0	3
H22年度	全国	2	311	36	349
	佐賀県	0	3	0	3
H23年度	全国	2	314	35	351
	佐賀県	0	4	0	4

(2) 設置課程

		全日制	定時制	通信制	併置	計
H21年度	全国	300	28	11	5	344
	佐賀県	3	0	0	0	3
H22年度	全国	304	30	10	5	349
	佐賀県	3	0	0	0	3
H23年度	全国	307	29	9	6	351
	佐賀県	4	0	0	0	4

(3) 単位制による課程

		単位制	単位制でない	計
H21年度	全国	331	13	344
	佐賀県	3	0	3
H22年度	全国	335	14	349
	佐賀県	3	0	3
H23年度	全国	335	16	351
	佐賀県	3	0	3

(4) いわゆる母体校に設置されていた学科別学校数(複数回答可) ※H21年度文部科学省調査

学科	学校数	備考
普通	253	唐津青翔高校
農業	81	神埼清明高校
工業	73	多久高校
商業	113	嬉野高校
水産	4	
家庭	60	
看護	3	
情報	19	
福祉	12	
理数	1	
体育	4	
音楽	1	
美術	1	
外国語	0	
国際	4	
その他	6	人文学科、自動車科、電器産業科、産業技術科 等
計	635	

※新設校の総合学科は16校

(5) 募集定員及び系列数(ただし、都道府県立のみの集計)

		学校数計	学級数計	募集定員計	1校あたりの募集定員平均	1校あたりの系列平均
H21年度	全国	266	1,231	49,030	184.3	5.3
	佐賀県	3	12	480	160.0	5.7
H22年度	全国	269	1,270	50,747	188.0	5.3
	佐賀県	3	12	480	160.0	5.7
H23年度	全国	272	1,259	49,547	182.2	5.3
	佐賀県	4	14	560	140.0	5.5
H24年度	全国	277	1,283	50,857	184.3	5.2
	佐賀県	4	14	560	140.0	5.5

(6) 募集学級数別学校数(ただし、都道府県立のみの集計)

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	計
H21年度	全国	5	19	45	61	41	67	22	6	266
	佐賀県	0	0	0	3	0	0	0	0	3
H22年度	全国	2	20	43	59	45	70	22	8	269
	佐賀県	0	0	0	3	0	0	0	0	3
H23年度	全国	4	20	49	57	46	69	20	7	272
	佐賀県	0	0	2	2	0	0	0	0	4
H24年度	全国	4	20	51	57	48	69	20	8	277
	佐賀県	0	0	2	2	0	0	0	0	4

(7) 系列数別学校数(ただし、都道府県立のみの集計)

		2系列	3系列	4系列	5系列	6系列	7系列	8系列	9系列	不明	計
H21年度	全国	6	15	46	85	66	34	12	2	0	266
	佐賀県	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
H22年度	全国	4	16	49	87	64	35	11	2	1	269
	佐賀県	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
H23年度	全国	4	17	50	93	61	32	12	2	1	272
	佐賀県	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
H24年度	全国	4	19	56	96	58	31	11	2	0	277
	佐賀県	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4